東部森林組合だより

令和７年６月 No.108

JForest
発行　鳥取県東部森林組合
〒680-0947 鳥取市湖山町西1丁目328-2
TEL 0857-28-5751　FAX 0857-28-9180
E-mail:info@toubushinrin.com

Contents

●令和７年度　第46回通常総代会を開催 …… 1
●組合長あいさつ要旨 …… 2
●新役員の紹介 …… 4
●地区座談会を開催 …… 5
●鳥取県東部森林組合組織図 …… 5
●「国産広葉樹活用サミット九州２０２５in大川」トークセッションに組合長が登壇 …… 6
●福岡・大川家具工業とのセンダン協働植樹 …… 7
●鳥取大学附属小学校と鳥取北ロータリークラブとの協働植樹を実施 …… 7
●新人職員・技能員の紹介 …… 8
●お知らせ（相続加入届、組合員加入のメリット） …… 8

令和７年度 第46回通常総代会を開催

令和７年３月29日、第46回通常総代会を「とりぎん文化会館」で開催しました。

当日は、現在総代数２１５名のうち、本人出席92名、書面議決91名、委任状11名、合計１９４名の出席を得て、第１号議案「鳥取県東部森林組合定款等の改正について」から第９号議案「役員の選任について」まで、いずれも原案どおり可決・承認されました。

嶋沢組合長の開会のあいさつ

第46回通常総代会提出議案

第１号議案
鳥取県東部森林組合定款等の改正について

第２号議案
令和６年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、附属明細書について

第３号議案
令和７年度事業計画の設定について

第４号議案
技能員作業場 兼 組合倉庫建築に係る実施設計について

第５号議案
令和７年度理事及び監事の報酬額の決定について

第６号議案
令和７年度中の借入金最高限度額の決定について

第７号議案
令和７年度余裕金預入先金融機関の決定について

第８号議案
役員退任慰労金の支給について

第９号議案
役員の選任について

その他
株式会社東部林業の経営報告について

令和7年度 鳥取県東部森林組合 第46回通常総代会あいさつ要旨

（令和7年3月29日）

代表理事組合長 嶋沢 和幸

1 はじめに

本日は、総代の皆様にはお忙しい中、令和7年度第46回通常総代会に御出席いただき、厚くお礼申し上げます。また、皆様には組合事業の推進につきまして、日頃から御支援・御協力をいただいておりますこと、この場をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

2 森林・林業を取り巻く状況

CO_2の吸収源としての2050年カーボンニュートラル、森林が約7割を占める国土の強靱化、国民の4割上が発症していると言われている花粉症の発生源対策など環境面で、世界情勢や為替相場に影響されない国産材への転換による国産材の安定供給など経済面で、森林・林業に対する期待が大きく高まっています。

このような中で、現在、戦後の高度経済成長期に造成されたスギを中心とした人工林の約6割（スギについては約7割）が50年生を超えて、本格的な利用期を迎えており、この人工林を「伐って、使って、植えて、育てる」という循環林業（皆伐・再造林）を推進していくことが重要となっています。

本組合では、令和3年度から本格的に皆伐・再造林に取り組んでおり、花粉の多いスギやヒノキを伐採した後には、成長が早く、花粉の少ないスギの苗木などを植栽しています。

3 令和6年度事業実績

組合員皆様の御支援・御協力をいただきながら、組合一丸となって、事業量の確保や効率的な事業実施に全力で取り組んだ結果、皆伐・再造林事業や搬出間伐事業、植栽事業などを順調に進めることができ、そして、事業を利用いただいた組合員の皆様に対し、前年度以上の負担額助成や利益還元をすることができました。

また、素材生産量も、スギ・ヒノキを中心に55千㎥となり、前年度に引き続き、過去最高を更新するとともに、10年前の約3倍となりました。

総事業取扱高は、林産事業や造林事業の増加等により、1580百万円となり、前年度に続き、過去最高を更新するとともに、10年前の約1・8倍になりました。

また、本業の儲けである事業利益は、24百万円を確保でき、10年連続で20百万円以上となりました。

4 令和7年度経営方針

今後とも、本格的な利用期を迎えているスギを中心とした人工林の皆伐・再造林を中心に事業を進めていく中で、組合員の皆様に「組合員で良かった」と実感してもらえるよう努めて参りますので、引き続き、よろしくお願いします。

令和6年度貸借対照表 （千円）

科目		金額	科目		金額
流動資産	現金	136	流動負債	未払金	49,944
	預金	222,441		未払金法人税等	8,800
	売掛金	28		前受金	101,524
	棚卸資産	1,927		預り金	18,964
	前払費用	90,862		仮受金	2,074
	未収金	279,137			
	前渡金	6,582		流動負債計	181,306
	差入保証金	100	固定負債	退職給付引当金	72,797
	仮払金	5,166			
	雑資産	10		固定負債計	72,797
	流動資産計	606,389		負債合計	254,103
固定資産	建物	64,121	純資産	出資金	112,608
	建物付属設備	3,109		法定準備金	124,000
	構築物	2,568		損失補てん積立金	50,000
	機械装置	27,078		高性能林業機械積立金	210,000
	車輌運搬具	5,556		技能員作業場兼組合倉庫等整備積立金	60,000
	工器具備品	1,756		当期剰余金	20,249
	土地	59,089		前期繰越剰余金	2,739
	建物仮勘定	0		資本準備金	1,975
	森林	2,112			
	ソフトウェア	420			
	外部出資	21,320			
	差入敷金	340			
	農林年金長期前納負担金	26,127			
	退職給与積立金	15,689			
	固定資産計	229,285		純資産合計	581,571
資産合計		835,674	負債・純資産合計		835,674

5 皆さんへのお願い

今年の10月18日・19日には、林業技術・安全作業意識の向上、新規林業就業者の拡大を目的とした「第４回日本伐木チャンピオンシップin鳥取」が鳥取砂丘オアシス広場で開催されます。

今回の大会は、世界大会へ出場する日本代表選手を選出する大会となり、全国から多くの優秀な選手が出場します。本組合からも選手及び審判員として参加します。この大会が本組合を始め、県内の新規就業者数の拡大につながることを期待しております。ぜひ、皆様も御来場・御観戦いただければと思います。

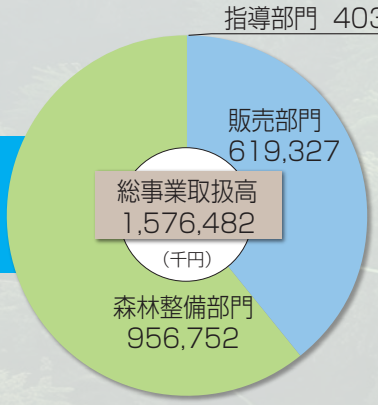
最近の岩手県大船渡市、岡山市、今治市での大規模な林野火災が発生しております。春先（2月～5月）は乾燥し、強風が吹きやすく、火災が多く発生する時期です。

皆様もこの時期には野焼き、火入れ等は避けていただくなど、火の取扱いには十分に注意していただくようお願いします。

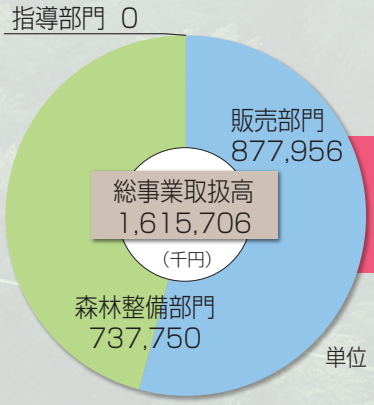
6 結びに

今後とも、本組合の事業の継続と更なる事業拡大に取り組んで参りますので、組合員皆様の一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

令和６年度 事業実績（総事業取扱高）



令和７年度 事業目標（総事業取扱高）



単位：千円

令和６年度損益計算書（取扱高）　（千円）

科　目	金　額	備　考
事業総損益		
収益	1,576,482	①
費用	1,552,425	②
事業利益	24,057	③＝①－②
事業外損益		
事業外収益	1,785	④
事業外費用	1,186	⑤
事業外損益	599	⑥＝④－⑤
経常利益	24,656	⑦＝③＋⑥
特別損益		
特別利益	20,391	⑧
特別損失	19,000	⑨
特別損益	1,391	⑩＝⑧－⑨
税引前当期利益	26,047	⑪＝⑦＋⑩
法人税及び住民税	5,798	⑫
当期剰余金	20,249	⑬＝⑪－⑫
前期繰越剰余金	2,739	⑭
当期未処分剰余金	22,988	⑬＋⑭

剰余金処分案　（千円）

適　用	内　訳	小　計	合　計
Ⅰ当期未処分剰余金			22,988
1当期剰余金		20,249	
2前期繰越剰余金		2,739	
Ⅱ剰余金処分額			20,100
1法定準備金		4,100	
2任意積立金		16,000	
①高性能林業機械等積立金	16,000		
Ⅲ次期繰越剰余金			2,888

1　高性能林業機械等積立金

（1）積立目的　当組合の所有する高性能林業機械等の将来において更新・修繕等に備えるため。

（2）積立目標額 526,000,000円

（3）積立基準　毎事業年度の剰余金処分において、高性能林業機械等に必要な経費に充当する額を積立てる。

令和７年度の主要事業の数値目標

事　業　名			令和６年度 実績 (A)	令和７年度 計画 (B)	前年度対比(%) (B)/(A)
植栽	再造林 (ha)		55	80	145%
	松くい虫被害跡地整備 (ha)		2	3	150%
	竹林整備 (ha)		5	3	60%
	センダン (ha)		4	6	150%
	計		66	92	139%
素材生産	主伐（皆伐）	面積 (ha)	58	90	155%
		材積 (m^3)	41,439	51,000	123%
	搬出間伐	面積 (ha)	157	100	64%
		材積 (m^3)	13,736	9,000	66%
	計	面積 (ha)	215	190	88%
		材積 (m^3)	55,175	60,000	109%

新役員の紹介

令和７年２月26日に開催された役員推薦会議において、理事16名、監事３名の役員候補者が推薦されました。そして、令和７年３月29日に開催された第46回通常総代会で役員選任議案が可決・承認され新役員が決定し、また、同日開催の理事会において、嶋沢 和幸理事が代表理事組合長（常勤）に選任されました。役員の任期は令和７年３月29日から令和10年３月の総代会までとなります。選任された役員は次の方々です。（議席順）

理事（事業委員長）
森本　茂美（もりもと　しげみ）
第４区（旧鳥取市）

理事（総務委員長）
房安　光暁（ふさやす　みつあき）
第７区（青谷町）

常務理事
村上　哲朗（むらかみ　てつろう）
有　識　者

代表理事組合長
嶋沢　和幸（しまざわ　かずゆき）
第５区（気高町）

理　事
長谷川 正昭（はせがわ　まさあき）
第７区（青谷町）

理　事
井上　一洋（いのうえ　かずひろ）
第６区（鹿野町）

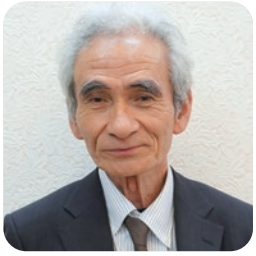
理事（事業副委員長）
田中　正雄（たなか　まさお）
第４区（旧鳥取市）

理事（総務副委員長）
中村　晴通（なかむら　はるみち）
第４区（旧鳥取市）

理　事
小谷　敏（こだに　さとし）
第１区（岩美町）

理　事
山根　健（やまね　つよし）
第２区（福部町）

理　事
宮本　純一（みやもと　じゅんいち）
第１区（岩美町）



理　事
矢田　和典（やた　かずのり）
第６区（鹿野町）

理　事
太田　順一（おおた　じゅんいち）
第３区（国府町）

理　事
寺垣 伸一郎（てらがき　しんいちろう）
第１区（岩美町）

理　事
湯村　正（ゆむら　ただし）
第３区（国府町）

理　事
土居　喜実（どい　よしみ）
第４区（旧鳥取市）

監　事
岸本　一之（きしもと　かずゆき）
第３区（国府町）

監　事
松本　泰（まつもと　やすし）
第４区（旧鳥取市）

代表監事
小林　正和（こばやし　まさかず）
第７区（青谷町）

地区座談会を開催

令和７年２月７日㈮、９日㈰、13日㈭にかけて、各地区の総代の皆さんとの地区座談会を次のとおり開催しました。

嶋沢組合長からのあいさつと本組合の事業取組状況の説明に続き、村上常務及び若林参事から「令和６年度事業実績・決算」「令和７年度事業取組方針」の説明を行った後、組合事業全般についての意見交換を行いました。

組合員の皆さんも、組合事業についてご質問やご意見等があれば、いつでも森林組合へご連絡ください。

今回の地区座談会の開催に際し、岩美町・国府町の総代の皆さんには、大雪による開催日の急な変更にもかかわらず、ご参加いただきありがとうございました。

地区	開催日時	場所	参加総代数
青谷町	令和７年２月７日（金）９時30分～10時30分	鳥取市立日置谷地区公民館	９人
鹿野町 気高町	令和７年２月７日（金）13時30分～14時30分	鳥取市立鹿野地区公民館	10人
旧鳥取市	令和７年２月９日（日）９時30分～10時30分	鳥取県東部森林組合	19人
福部町	令和７年２月９日（日）13時30分～14時30分	福部町コミュニティセンター	４人
岩美町	令和７年２月13日（木）９時30分～10時30分	岩美町中央公民館	23人
国府町	令和７年２月13日（木）13時30分～14時30分	国府町コミュニティセンター	18人
計			83人

意見交換会であいさつする嶋沢組合長
（２月１３日岩美町地区）

鳥取県東部森林組合組織図

令和７年４月２日現在

組合員	3,033 名	
総代会	215 名	
役員会	理事　16 名	総務委員７名 事業委員７名
	監事　3名	

代表理事組合長　嶋沢　和幸

常務理事　村上　哲朗

参事　若林　哲夫

区分	人数	平均年齢
職　員	25 名	38 歳
技能員	46 名	40 歳
計	71 名	39 歳

事業部長　古川　晶朗

- **路網課**　課長　後藤　岳史　／　課員 2名うち兼務1名
  - ●林業専用道の設計・施工・管理
  - ●作業道の管理
  - ●巡視業務
- **林産二課**　課長　山本　文也　／　課員　5名
  - ●主伐再造林事業（作業道含む）の計画、実施
  - ●森林経営計画の作成
  - ●林業専用道の計画
  - ●重機管理
  - 技能員（3班15名）
- **林産一課**　課長　竹内　貴裕　／　課員　4名
  - ●搬出間伐事業（作業道含む）の計画、実施
  - ●森林経営計画の作成
  - ●林業専用道の計画
  - ●重機管理
  - 技能員（3班11名）
- **整備課**　（兼）課長　後藤　岳史　／　課員 5名うち兼務1名
  - ●造林（搬出間伐除く）事業の計画、実施
  - ●森林経営計画の作成
  - ●獣害対策
  - 技能員（4班20名）
- **経営課**　課長　森田　佳代　／　課員　2名
  - ●補助金関係
  - ●安全衛生
  - ●緑の担い手事業
  - ●利用事業
  - ●森林管理システム

総務部長　濵本　真奈美

- **総務課**　課長　南城　順子　／　課員　1名
  - ●資産管理
  - ●組合員及び役員関係
  - ●賃金及び給与

国産広葉樹活用サミット九州2025in大川

「国産広葉樹活用サミット九州2025 in 大川」トークセッションに組合長が登壇

令和７年１月15日、「国産広葉樹活用サミット九州2025.in大川」（主催：協同組合 福岡・大川家具工業会）が福岡県大川市で開催され、トークセッション「未来へ繋ぐ人と森と家具」～センダンが育む地域と循環～に嶋沢組合長が登壇されました。

トークセッション（特定のテーマについての話し合い）には、嶋沢組合長の外に、毎年、福岡・大川家具工業会とセンダンの協働植樹を行っている「福岡県八女森林組合」、「宮崎県諸塚村林業研究グループ」からも代表者が登壇され、林業の現状、センダン植樹のきっかけやセンダン育成の課題等について話し合われました。

このトークセッションで早生樹センダンを広く知っていただくことで、植樹活動の促進や家具用材などの安定需給、地域の経済活性化や雇用創出に繋がること、また、植樹や国産材の利活用により地球温暖化防止に寄与することが期待されます。再生産可能なセンダン造林を目指し、木材加工事業者などと連携してセンダンの一層の可能性を追求し、次世代へと繋いでいきたいとの方向でトークセッションは盛会のうちに終了しました。

サミットには、森林組合、林業家、家具小売店や設計・建築関連、各自治体等の川上から川下まで「木」に関わる多くの方が来場され、本組合の活動も知っていただけたと思います。

今後もこのようなイベントを通じて関係者が繋がりを広げ、林業を盛り上げていければと考えています。

※センダンは生長が早く、強度が高い、ケヤキに似た美しい木目の早生広葉樹で、家具材や内装材として使用されています。本組合では、平成29年度から令和６年度までに荒廃農地を中心に約12haを造林しています。

文責　経営課課長　森田佳代

福岡・大川家具工業とのセンダン協働植樹

令和７年３月21日、鳥取市広岡地内の荒廃農地において、６回目となる福岡・大川家具工業会との早生樹センダンの協働植樹を行いました。

福岡・大川家具工業会からの３名に加え、昨年に引き続き、宮崎県諸塚村林業研究グループからも３名が来県されました。また、今回は、東伯郡北栄町にある老舗家具メーカーの㈱新木コーポレーションの新木代表取締役社長と鳥取県東部農林事務所八頭事務所の若松所長、鳥取県林業試験場の上月場長ほか職員２名にも参加いただきました。本組合からは嶋沢組合長ほか役職員10名が参加し、総勢22名でセンダンの苗木42本を植樹しました。

本組合管内で植樹したセンダンが福岡・大川家具工業会や県内で加工され、家具材や内装材として広く使用されることを目指し、今後も植樹や適切な管理を行っていきます。

文責　経営課課長　森田佳代

参加者集合写真

植樹風景

鳥取大学附属小学校と鳥取北ロータリークラブとの協働植樹を実施

令和６年11月22日、鳥取市国府町岡益地内の皆伐・再造林地に、鳥取大学附属小学校（太田隆夫校長）の５年生児童66名と、鳥取北ロータリークラブ（水野治郎会長）会員14名、組合役職員７名が協働でスギ・エリートツリーのコンテナ苗木２００本を植樹しました。

今回は初の試みとして、参加する児童へより深く森林・林業への興味・関心を持ってもらうため、11月15日に出前授業として、嶋沢組合長が小学校へ出向き、森林・林業についての授業を行い、児童は真剣にその内容に耳を傾けていました。

そして植樹当日、参加者は組合職員からの植樹方法の説明を聞いた後、出前授業の内容を思い返しながら、大きく育つよう願いを込めてエリートツリーの苗木を丁寧に植えていました。

鳥取北ロータリークラブと地元小学校・義務教育学校との協働植樹は平成29年から毎年続いており、今回で８校目となりました。

今後も引き続き、森林・林業の大切さをより深く知ってもらうため、小学校との出前授業や協働植樹を実施していきたいと考えています。

文責：経営課課長補佐　濱田洋輔

新人職員・技能員の紹介

新たに職員4名、技能員5名が加わり、総勢71名（職員25名、技能員46名）の体制となりました。

技術職員

○令和7年4月1日付採用

経営課　清水（しみず）　爽妃（さき）（鳥取市出身）

「新しい環境に戸惑うこともありますが、先輩の指導のもと日々の業務に取り組んでいます。少しずつでも着実に力をつけ、皆様に信頼されるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。」

林産一課　河原（かわはら）　慎吾（しんご）（鳥取市出身）

「林業未経験のため、勉強しながら日々の業務に取り組んでおります。一人で悩まず、先輩方に相談し、仕事を学んでいきます。皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。」

林産二課　上嶋（うえじま）　克宜（よしのり）（鳥取市出身）

「未経験ではありますが、一日でも早く現場で信頼される存在となれるよう、真摯に学び、全力で取り組んでまいります。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。」

林産二課　森田（もりた）　大貴（だいき）（鳥取市出身）

「一日でも早く皆様のお役に立てるよう、日々精進してまいります。至らない点もあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。」

現場技能員

○令和6年11月20日付採用

林産二課内田班　澤（さわ）　祐人（ゆうと）（岩美町出身）

「先輩方、職員の方々のご指導をいただきながら一日でも早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いします。」

○令和7年4月1日付採用

林産二課森本班　木村（きむら）　悠人（ゆうと）（鳥取市出身）

「日々先輩方にご指導いただきながら、作業中焦らず着実に作業していきます。多くの現場を経験し、確実で安全な作業ができるよう頑張ります。よろしくお願いします。」

林産二課森本班　澤田（さわだ）　優希（ゆうき）（鳥取市出身）

「先輩方にご指導いただき、基礎から応用までの技術を習得し安全を確保して作業に励みます。日々学ぶことがあるので確実に作業を行い、成長できるように頑張ります。よろしくお願いします。」

林産二課内田班　中島（なかしま）　悠斗（ゆうと）（鳥取市出身）

「日々皆様にご指導をうけながら着実に成長していきたいと思います。よろしくお願いします。」

整備課神近班　清水（しみず）　祐貴（ゆうき）（鳥取市出身）

「林業という仕事は、未経験ですが、先輩方の温かい指導のもと、少しずつ業務を遂行できるようになってきました。これからも仕事に打ち込み、皆様の役に立てるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。」

お知らせ

★相続加入届等の提出について

組合員の相続人の方で

①引き続き組合員になられる方は、相続加入届出を相続開始後2年以内に提出してください。

②脱退をされる方は脱退届を事業年度末（1月31日）の60日前までに提出してください。事業年度末に脱退することができますが、出資金の払い戻しは次年度の総代会終了後になります。

★組合員加入のメリット

①「組合だより」「組合カレンダー」の配布等により森林・林業に関する情報やサービスを受けることができます。

②皆伐・再造林、搬出間伐等の施業を組合に委託し行う場合、手数料率が低くなります。（組合員13%、組合員外19.5%）

③竹林整備事業や松くい虫被害跡地整備事業、早生樹（センダンなど）植栽事業による植栽や下刈などを行う場合、組合からの助成金により組合員の負担がなくなります。

④皆伐・再造林事業で、組合がスギ・ヒノキの人工林の伐採と植栽、下刈の各作業を組合員から一括して受託した場合、1haあたり50万円以上の利益還元（返金）が受けられます。